

1 社会・治安情勢

当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、儀式殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、南部州リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生しており、最近では偽札を使用した犯罪も増加している。

(2) 邦人被害事案

12月12日、留守宅の邦人宅に一般訪問者を装い賊が侵入、自宅裏勝手口の内側のドアを破壊し、扉の壁内側に掛かっていたバーグラバーの鍵でバーグラバーを開放後、自宅内に侵入、自宅内にあった金庫を窃取した。金庫内部には現金（米貨270ドル相当）、各種免許証等が入っていた。地元警察は邦人宅使用人の庭師を翌日に逮捕している。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 10月4日、ルサカ市のザンビア大学の学生が8月から食費や宿泊費の手当が支給されないことに対し抗議行動を実施。なお、一連の抗議行動の中、学生側に死傷者が出たことにより抗議行動は激化。当地JICA事務所もルサカ市内在住者に対し、不要の外出を控えるよう呼びかけを実施した。

イ 11月1日、中央州カブウェの自動車会社に強盗が押し入り、ショップマネージャーより現金を強奪する事件が発生した。

ウ 11月15日、北部州ンドラにてフランス人女性が偽造紙幣（米ドル）所持で逮捕された。偽造紙幣の製造はザンビアでは代表的な犯罪の1つで、邦人が偽造紙幣と分からず、所持してしまう可能性もある。

エ 11月18日頃、南部州シナゾングエにおいて儀式殺人が行われ、25歳の男性の遺体の一部がカリバ湖に遺棄されているのが見つかった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。